

令和7年度

大松小学校
「学力向上実行プラン」

学校の教育目標を踏まえた学力向上の重点目標

見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びを実現する子どもの育成

校長

下山 敬子

学力向上推進員

【学力向上推進員】竹原祥子(6年主任)
【委員】教頭 井関美香 教務 堀内真紀子 特別支援 粟田のり子 1年主任 小島有紀
2年主任 朝日奈 美樹 3年主任 丸吉 知世 4年主任 平岡 里奈 5年主任 丹澤耕平

【小中連携における共通の取組】

学習のめあての提示・学習のふりかえりを徹底し、授業改善に努める。

【各校の取組状況の把握について】

互いに授業参観し合ったり、情報共有をしたりすることにより、様々な機会を捉え取り組み状況の把握を行う。

◎次の（１）～（３）をバランスよく取り組み、学力の向上を推進

（１）知識・技能の習得

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○教師の指導や支援を素直に受け入れながら、学習課題に真面目に取り組むことができる。 ●知識・技能の定着に個人差がある。 ●正確に読み取ったり、聞き取ったりすることに課題がある。	・基礎的・基本的な知識・技能を確実に身に付けることができる。 ・習得した知識・技能を他の学習や生活の場面で生かすことができる。	・朝の活動の時間に、繰り返しミニテスト・プリントなどを活用し、知識・技能の定着を図る。 ・ICT機器を効果的に活用し、個に応じた指導の充実を図る。 ・知識・技能の習得状況を確認し、授業改善に活かす。			

（２）思考力・判断力・表現力等の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○ペア活動等で、自分の思いや考えを伝え合うことができる。 ●自信がもてず、自分の思いや考えを分かりやすく伝えることに課題がある。 ●要点を押さえて、友達の意見や発表を聞くことに課題がある。	・見方・考え方を働かせ、自分の思いや考えをもち、互いに伝え合おうとすることができる。	・正確に情報を読み取り、比較・関連しながら自分の考えをもったり、要点を押さえて話を聞いたりすることができるようにする。 ・学習形態(ペア・グループ等)の工夫やタブレット・思考ツール等の活用により、自分の考えを分かりやすく伝える力を身に付けさせる。 ・読書を推進し、語彙の量と質の充実を図り、表現力を豊かにする。			

（３）主体的に学習に取り組む態度の育成

児童生徒の状況(○よさ・●課題)	具体的目標(目指す子供の姿)	具体的方策(教員の取組)	中間期の見直し	達成状況(評価)	次年度における改善事項
○何事にも真面目に一生懸命取り組む児童が多い。 ●自ら課題を見つけ、課題解決に向けて粘り強く取り組む態度を育成する必要がある。 ●積極的に取り組むことが難しい児童や学習規律が身に付いていない児童が見られる。	・自分で課題を見つけ、自己調整しながら、課題解決方法を見つけることができる。 ・成長する喜びを前向きに受け止め、自分のことが「好き」と実感することができる。	・1分間スピーチやペアトークの推進を図り、自分の思いや考えを意欲的に伝え合うことができるようにする。 ・振り返りにより、自分の成長に気付かせる。 ・振り返りの内容や児童の変容の見取りを授業改善に活かす。 ・様々な体験活動や交流を通して、自信をもち、意欲的に学習活動に取り組むことができるようにする。			